



新潟市立大形中学校
3学年だより No.85
令和元年9月3日発行
文責:立川 宏

一歩

中学校最後の・・・

今年は、何をするにも「中学校生活『最後』の・・・」と「中学校最後」が付きます。運動部が夏までがんばっていた部活動も「中学校最後」の大会でした。大空祭も「中学校生活最後」の体育祭です。「最後」と付くからには、これまでに何度か活動しています。3年生は、これまでの経験を活かすようにしなければいけません。反面、「中学校生活で初めての・・・」が1年生です。

このような最後の3年生と、初めての1年生、その間の学年の2年生といった経験の量も違う3つの学年が一つの連合になって活動します。



3年生は、最後の大会を満足した内容と結果を得るために、1・2年生の協力が欠かせません。1・2年生が3年生に協力してくれるのは、3年生リーダーの指示がよかったり、がんばろうとする意気込みが伝わるからです。そしてリーダーだけでなく、その連合の3年生全員の雰囲気も1・2年生のやる気を高めます。

よい思いをしようとするれば、自分の努力はもちろん、周りの人たちとの協力も重要です。素敵な思い出づくりは、みんなの協力した取組からです。

雨続き、屋内練習

先週末まで雨が降り、大空祭の練習は屋内練習でスタートしました。週末の土日は晴れたものの、月曜日になったら再び雨に・・・。残念ながら昨日の大空祭練習も屋内でした。

昨日は、大玉送りの説明と連合で並び方や作戦を練りました。全体説明後の連合での練習は、体育館に3連合、武道場に2連合と会場を分け行いました。

初めての練習で、屋内ということもあり、思い切り走り回るような練習はできませんでした。

また連合の応援練習も、グラウンドのフィールドを使っただけの練習がまだ一度もできていません。今後の外で活動できる練習日にフィールドの使い方なども効率よく練習しなければなりません。

明日からは、晴れの予報が出ています。今後の練習について、リーダーが活動予定を緻密に計画し、連合のメンバーがどれだけまとまりある取り組みができるかが、効率よく練習ができる鍵かもしれません。ここからがリーダーの腕の見せ所です。

